

柿野住民自治協議会たより

柿野住民自治協議会報

第29号

令和6年8月発行
編集制作: 柿野住民自治協議会
事務局: 松阪市飯南町横野848
飯南産業文化センター内

柿野住民自治協議会は「みんなが安全で安心して暮らせる町、柿野」～夢のある柿野、住んでいて楽しい柿野、いつまでも住みたい柿野～を目指して活動しています。

令和6年度の事業、予算案などを承認 柿野住民自治協議会総会開く

柿野支援隊の利用状況報告や専任の会計、事務局を置く規約の改正などを承認



新年度事業案などを審議する総会の様子
(飯南産業文化センターで)

令和5年度の活動報告と同6年度事業計画案などを審議する柿野住民自治協議会の令和6年度総会が5月18日、飯南産業文化センターで開かれました。72人の推進委員のうち、出席54人、委任状提出14人、欠席4人で、総会は成立し、令和5年度決算報告や令和6年度事業予算案など9議案を全会一致で承認しました。

住民の共助組織、柿野支援隊関係では、活動報告で5年度は草刈りなど計9件の利用があったこと、組織に会計と事務局を置く規約の改正と、運営委員に竹岡和也さん、会

計に廣田昇さん、事務局に中出栄一さんを充てる役員選任がそれぞれ、承認されました。

住民自治協議会関係では、副会長の川上泰宏さんが退任し、竹岡和也さんが副会長に就任（任期は役員の残任期間の令和7年3月31日まで）する役員人事案が承認されました。

また、地元出身者からの当住民自治協議会への寄付金（100万円）を予算計上する補正予算も承認されました。浄財は深野だんだん田の観光用看板や白猪山観光チラシの費用、高齢者に配布する非常持ち出し袋の購入費用として活用されます。

承認された各議案の一部を抜粋で掲載します。

＜令和6年度事業計画＞※注 主な事業のみ掲載

【柿野支援隊】 ▼協力隊員、賛助会員の募集 ▼刈払機取扱い安全教育講習会の開催など
【自治会部会】 ▼防犯灯修繕 ▼草刈り事業 ▼園芸講習会の開催など
【環境福祉部会】 ▼健康ウォーキング ▼花いっぱい運動 ▼防災グッズ進呈事業 ▼敬老事業 ▼健康講座 ▼グラウンドゴルフ大会 ▼お菓子作り教室開催など
【教育文化部会】 ▼深野棚田観光案内看板、チラシ作成 ▼親子ものづくり教室 ▼夏休み子ども映画観賞会 ▼バルーンアートづくり ▼紙漉き体験教室など

<令和6年度事業予算>※注 主な項目のみ掲載

収 入		
活動交付金	212 万円	松阪市住民自治協議会連合会（元気応援事業助成金 40 万円含む）
地域振興費交付金	3 万 7500 円	松阪市住民自治協議会連合会
地域福祉助成金	10 万円	松阪市社会福祉協議会から
会費	2 万円	横野、深野区から各 1 万円
負担金	4 万 5000 円	花いっぱい運動負担金、横野区 1 万 5000 円、深野区 3 万円
諸手当他	122 万 5004 円	市広報配付手数料など
前年度繰越金	70 万 4919 円	
合計	425 万 2423 円	
支 出		
【自治会部会】 ▼防犯灯 LED 交換事業 12 万円 ▼横野、深野区へ補助金 3 万 7500 円 ▼15 自治会長手当 120 万円など		
合計 141 万 5500 円		
【環境福祉部会】 ▼花いっぱい運動の花代 14 万 4000 円 ▼敬老事業記念品代 23 万円 ▼防災グッズ贈呈事業 16 万 5000 円 ▼柿野支援隊事業 41 万円など		
合計 103 万 1000 円		
【教育文化部会】 ▼棚田観光案内看板作成 10 万 8000 円 ▼夏休みこども映画観賞会 3 万 6500 円など		
合計 21 万 5500 円		
【事務局費】 ▼役員報酬 20 万円 ▼事務局員賃金 70 万円 ▼事務用品代 11 万 6983 円 ▼事務局移転に伴う備品購入費 31 万円 ▼予備費（寄付金事業分）9 万 1940 円など		
合計 159 万 423 円		
総計 425 万 2423 円		

<柿野支援隊予算>※注 主な項目のみ掲載

収 入	
▼住民協議会からの補助金 1 万円 ▼利用料 3 万 5000 円 ▼賛助会員費 1 万円など	
合計 7 万 4686 円	
支 出	
▼協力隊員報酬 2 万 8000 円 ▼刈払い機安全講習会講師料 2 回分 1 万円 ▼機材消耗品代 1 万 3000 円 ▼燃料代 6000 円 ▼事務用品費など 9686 円など	
合計 7 万 4686 円	

- 支援隊役員に選任

運営委員	竹岡和也
会計	廣田 昇
事務局	中出 栄一

（任期は役員残任期間の令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

令和 6 年度推進委員 深野地区

役 職	部会長	副部会長	推進委員
任 期	6～7 年度	6～7 年度	6～7年度又は6年度のみ
自治会部会	区推薦 (区長・和紙保存会) 出口 健太	区推薦 (区会計) 宮本 武	井本 広 6 年度組長 院田 晃弘 〃 柳田 正二 〃 奥山 亮二 〃 田中 宏実 〃 廣田 昇 〃 山本 欣一 〃 三井 廣一 〃 上見 竜広 団体推薦 (消防団)
環境福祉部会	組推薦 平井 幸多郎	区推薦 吉田 春巳	野呂 和宏 5 年度組長 松本 清 〃 青木 勝 〃 下出 裕司 〃 青木 茂一 団体推薦 (老人会・明昭会) 田中 秀治 〃 (松阪牛) 中川 明 組推薦 辻 智也 〃 杉本 英二 〃 山本 みち 団体推薦 (民生委員) 磯田 生千子 団体推薦 (民生委員)
教育文化部会	区推薦 (棚田保存会) 栃木 善明	団体推薦・組推薦 (民生委員) 中出 栄一	橋本 英幸 5 年度組長 中尾 健彦 〃 高木 博文 〃 磯田 龍彦 〃 青木 崇 団体推薦 (子供会) 廣 博子 団体推薦 (民生委員) 山本 幸代 団体推薦 (主任児童委員) 田中 良樹 組推薦 辻山 尚 〃 安林 義門 〃 南 一生 区推薦

令和 6 年度推進委員 横野地区

役 職	部会長	副部会長	推進委員
任 期	6 年度	6 年度	6 ～ 7 年度又は 6 年度のみ
自治会部会	区推薦 (区長) 竹岡 和也	区推薦 (副区長) 藤岡 信	野呂 保 6 年度組長 野呂 昭男 〃 野呂 貢 〃 野村 悟 〃 山本 繁 〃 森 功 〃 稲葉 丈治 〃 石川 敦久 団体推薦 (消防団) 野呂 祐介 〃 (消防団)
環境福祉部会	区推薦 竹岡 春俊	団体推薦 (新緑会) 野呂 貢 (兼自治会部会推進委員)	樹下 正 5 年度組長 森本 佳樹 〃 稲葉 増次 〃 鈴木 ひろ子 組推薦 村瀬 正名 〃 武藤 理 区推薦 小阪 和正 〃 吉田 千代子 団体推薦 (新緑会) 野呂 麻利子 〃 (民生委員) 久世 洋子 〃 (民生委員)
教育文化部会	区推薦 稲葉 丈治 (兼自治会部会推進委員)	団体推薦 (新緑会) 坂口 さよ子	福山 敦司 5 年度組長 野呂 辰夫 〃 山本 喜信 〃 奥達 廣志 組推薦 森本 和哉 〃 中野 満 〃 杉本 徳男 〃 小塩 一生 団体推薦 (体育振興会) 森本 梓 〃 (子ども会) 小川 清花 〃 (子ども会)

＜令和 5 年度事業報告＞※注 主な項目のみ掲載

【柿野支援隊】▼運営委員会 6 回▼コーディネーター調整会議▼刈払機取扱い安全衛生教育受講 2 名木の情報館スマッキ▼松阪市元気応援事業プレゼンテーション 交付金 20 万円、スポンサー賞 20 万円計 40 万円獲得
【自治会部会】▼防犯灯修繕 14 基▼横野地区草刈り 深野地区草刈り▼安全安心暮らし講習会▼救命講習会▼寄せ植え教室▼野菜づくり教室
【環境福祉部会】▼花いっぱい運動▼敬老事業▼グラウンドゴルフ大会▼健康食料理教室▼健康ウォーキング
【教育文化部会】▼親子ものづくり教室（竹とんぼづくり）▼バルーンアートづくり▼歴史文化学習会（春谷寺エドヒカン桜見学）

＜令和 5 年度収支決算報告書＞※注 主な項目のみ掲載

収 入		
活動交付金	172 万円	松阪市住民自治協議会連合会より
地域福祉助成金	10 万円	松阪市社会福祉協議会より
地域振興費交付金	3 万 7500 円	松阪市住民自治協議会連合会より
会費	2 万円	横野区、深野区各 1 万円
諸手当	121 万 1626 円	市広報配布手数料
寄付金	100 万円	地元出身者よりの寄付金
合計	414 万 7513 円	
支 出		
【自治会部会】 ▼防犯灯修繕費 21 万円▼草刈り事業費 193 万 2 千円▼園芸講習会 1 万円▼地域振興費補助金 3 万 7500 円（横野、深野両区へ）▼諸手当（自治会長手当）121 万 1626 円など		
合計 121 万 1626 円		
【環境福祉部会】▼健康食料理教室 3 万 2000 円▼花いっぱい運動 6 万 9 千円▼グラウンドゴルフ大会 4 万 4 千円▼敬老事業 23 万 3843 円▼柿野支援隊事業 3 万 3 100 円など		
合計 41 万 6234 円		
【教育文化部会】▼柿野小学校助成金 1 万円▼体育振興会助成金 7748 円▼バルーンアート教室 9383 円▼親子ものづくり教室 3304 円▼夏休み映画観賞会 1030 円（DVD 借用送料）▼紙漉き体験事業保存会へ助成 1 万 8000 円など		
合計 5 万 2665 円		
【事 務 局】 ▼役員報酬 20 万円▼事務員賃金 70 万円▼旅費日当 5 万 8052 円▼事務用品代 10 万 3570 円▼通信費 5 万 1596 円（インターネット使用料、スマホ通信料）▼燃料費 6270 円（灯油代）▼広報紙印刷代 8330 円▼備品購入費 32 万 9560 円（プリンター、ポータブルアンブ購入）など		
合計 146 万 4335 円		
総計 344 万 2594 円		
翌年度繰越金 70 万 4919 円		

収 入
▼売上金 1 万 3250 円（9 件 500 円×延べ 26.5 時間）▼一般交付金 3 万 3100 円（柿野住民自治協議会より）▼賛助会員会費 0 円▼雑収入 1470 円（燃料代）
合計 4 万 7820 円
支 出
▼活動費報酬 1 万 600 円▼傷害保険料 1620 円▼燃料費 1470 円▼消耗品代 9024 円（印刷代、紙代）▼その他費用 2 万 4420 円（講習会受講料、名札など）
合計 4 万 7134 円
翌年度繰越金 686 円

柿野支援隊を支える賛助会員募集中！

★支援隊がする仕事

粗大ごみの処理 家周辺の掃除、除草 電球交換 家の軽微な補修など（引き受ける作業内容はコーディネーターが自宅を訪問して検討のうえ、決定します）追加の仕事として、現在通院、買い物支援の準備をしています

★利用できるのは

柿野地域に住む八〇歳以上の世帯や障害者。またはコーディネーターが支援を必要と認めた方です

★利用料金

支援協力隊員 1 人につき、1 時間当たり五〇〇円（三〇分当たり二五〇円）運搬交通費は 1 人につき二〇〇円

★利用方法

まず、利用会員に登録していただきます。柿野住民自治協議会事務局（090・5769・6948）に電話するか、各組自治会長に申し込んで登録し、そのうえで、作業の依頼を申請してください
支援協力隊員には 1 時間当たり四〇〇円の報酬を支払います

柿野支援隊

＜賛助会員とは＞

支援隊の円滑な運営のため、個人、事業者に出資をお願いするもので、個人は 1 口 1000 円、事業者は 1 口 5000 円を募っています

＜運営状況＞

支援隊の運営資金は柿野住民自治協議会からの助成金 10000 円と、利用者からいただく 1 時間当たり 500 円の利用料金のうち、運営費として入る 100 円だけです。本来、支援隊で用意すべき作業道具、消耗品などの負担は支援協力隊員の善意に頼っている状況で、今後、利用者が増えていくと費用がかさみ、現在の予算額では運営できなくなります。柿野支援隊活動の趣旨に賛同される皆様方の支援をよろしくお願いします。
※加入申し込み方法などは柿野住民自治協議会事務局（090-5769-6948）までお問い合わせください。



刈払機安全講習会を柿野支援隊員7人が受講

法令で定められた有償での
草刈り作業に必要な講習会

柿野支援隊は6月26日、飯南産業文化センター研修室で刈払機（草刈機）取扱い作業者の安全衛生教育講習会を開きました。柿野支援隊の協力隊員7人が刈払機の安全な使い方などを学びました。

柿野支援隊には利用会員から草刈り作業の要請が多く寄せられています。刈払機を使って有償で作業をする場合、労働安全衛生法に基づき、労働基準局長通達で、作業に従事する者は安全衛生教育の講習を受講するよう定められているため、今回、柿野支援隊の主催で講習会を開きました。



講師の竹岡副会長から、刈払機の安全な使い方などの説明を受ける受講者たち（飯南産業文化センター研修室で）

講師は同講習を修了し、資格の持つ柿野住民自治協議会の竹岡和也副会長。

講習内容は、開催を義務付けている安全衛生規則関係法令の説明や刈払機を安全に使用するための知識、点検整備、目立ての方法、振動障害の予防措置、災害事例など多岐にわたりました。終了後、受講者には講習会修了証が交付されました。

トマトなど夏野菜の作り方学ば 野菜づくり教室



早川講師からおいしい野菜の作り方を教えてもらう受講者たち（飯南産業文化センター研修室で）

自治会部会は3月1日、野菜づくり教室を飯南産業文化センター研修室で開きました。テーマは「夏野菜の作り方」で、家庭菜園の野菜作りを趣味にする女性など18人がおいしいトマト、ナス、オクラの作り方を学びました。

講師はJA みえなか飯南営農振興センターの東川健司さんとJA 全農みえの中井亮汰さんの2人で、中井講師はおいしい野菜を栽培する土壌に欠かせない三大肥料（窒素、リン酸、カリ）や農薬を使わないとキャベツでマイナス63%、キュウリでマイナス61%、トマトでマイナス39%、大根でマイナス24%の減収率になるというデータを示して適切な農薬の使い方を指導。また、東川講師は、トマトの場合、葉の色が濃く、一番上の茎が内側に曲がると窒素の過剰摂取で、対策として「わき芽をわざと残すか、摘花量を減らすことで養分を分散させる」「追肥を単肥のみにする」のがよい。トマトは昼間に光合成で蓄えた養分を夜間、果実に蓄えるので収穫は早朝がベストと、栽培法を説明されました。参加者はテキストの重要な部分にチェックを入れるなどして一生懸命勉強していました。

24人が草刈り奉仕に大粒の汗流す 横谷、横野の清掃美化活動

自治会部会は七夕の7月7日、清掃美化活動の一環として草刈り作業を行いました。今年は例年行っている横谷地区の地蔵寺周辺や林道の草刈りに加え、横野地区の上道の草も刈りました。

この日は早朝から、役員や推進委員の計24人が刈払機などを持参して集合。皆、汗だくになりながら背丈ほどに生い茂った夏草を刈り取り、約2時間の作業ですっきりきれいになりました。特に横野の上道は住民がウォーキングのコースとして多くの住民が利用しており、今回の草刈りで見た目にも歩きやすくなりました。

早春の里山を軽快に歩く

健康ウォーキングに 39 人



深野の稲荷山を目指して元気に歩く参加者たち

環境福祉部会は 3 月 10 日、健康ウォーキングを開催しました。コースは横野の飯南産業文化センター前をスタートし、深野の稲荷山公園までの往復 5 ㎞で、家族連れなど 39 人のおしゃべりをしながら楽しく歩きました。

住民の健康づくりの一環として毎年、この時期に開催している行事。

この日は晴天に恵まれたものの、3 月とは思えぬ冷え込みで寒く、参加する人が少なくなるのでは、と危惧されましたが、午前 8 時半、申し込んでいたお年寄りや家族連れなどが元気に集合しました。日頃から暇をみては歩いている人が多く参加しており、旧参宮街道を約 30 分、元気に歩いて健脚を披露していました。稲荷山公園に到着後、しばらく休憩し、地元、郷土史家の野呂修三さんがここに祀られている稲荷神社の言い伝えなど、古い歴史があることについて解説。皆が聞き入っていました。記念撮影をした後、飯南産業文化センターまでまた歩き、到着後、参加賞を受け取って解散しました。

エドヒガン桜をめぐる

歴史文化学習会に 17 人

教育文化部会は 3 月 24 日、歴史文化学習会を開き、飯南町向粥見の春谷寺（しゅんこくじ）を訪れ、同寺の由緒などを学習した後、境内に咲く松阪市指定天然記念物の「エドヒガン桜」を見物しました。

参加したのは住民 17 人で、この日はあいにくの雨模様でしたが、午前 8 時半、飯南産業文化センターに集合した後、車に分乗して波留地区に向かいました。春谷寺は曹洞宗の古刹で、推定樹齢 400 年のエドヒガン桜は淡いピンク色の花を咲かせます。3 月末には「波留桜まつり」が開かれ、ライトアップで夜桜も楽しめるとあって、市内外から多くの見物客が訪れます。

本堂に参拝した一行は同寺総代長の若江直記さんと、地元の岡田好隆さんから、「この寺の創建は 1656 年（明暦 2 年）で、本尊は室町時代後期作の釈迦如来坐像です」と、寺の由来などの説明を受けました。

本堂前に咲くエドヒガン桜は樹高、枝張りは約 10 メートル、幹周囲は約 4 メートルの大木。訪れたこの日は 8 分咲きで、古木ながら、今年も直径 1 ㍍程度の小さな花を生き生きと咲かせ、参加者の目を楽しませてくれました。



樹齢 400 年のエドヒガン桜に見入る歴史文化学習会の参加者たち（飯南町向粥見で）

いざという時に持ち出す防災グッズを配る

篤志家の寄付金を活用

柿野住民自治協議会は、地震や台風被害などで避難する際、すぐ持ち出せる防災グッズを7月中、深野、横野地区の80歳以上の46世帯に配りました。避難生活で必要となる生活物資を箱に詰め込んだもので、「いざという時に役にたちそう」と、喜ばれています。

住民自治協議会に対する篤志家の寄付金を原資に購入しました。防災グッズの中身はリュック、強力ライト、緊急用笛、防災ハンドブック、マスク、使い捨てカイロ、軍手、ウェットティッシュ、ポケットティッシュ、バンドエイド、防寒レインコート、緊急携帯トイレ、ペットボトルの水（5年間対応）の13品目。配付は深野、横野両地区の民生児童委員6人に協力していただき、各戸を回って防災グッズを手渡ししました。みなさんは「ありがたいことです。これを使うことがあってほしくはないが、枕元に置いておくだけで安心します」、「全国で



防災グッズをお年寄りに手渡す民生児童委員（左）（横野で）

災害のニュースを耳にするのでそろそろ、うちも準備しておかなければと考えていたところでした」などと、うれしそうに話していました。

地域を花の里に！

花いっぱい運動で苗を配る



班長宅を回り、花の配付を依頼する深野・中村組の院田自治会長（右側）

環境福祉部会は6月16日、住民自治協議会管内の全戸に花の苗を配付する「花いっぱい運動」を行いました。各組自治会長らが各家を訪れ、色とりどりの花を届けました。

これまで横野地区だけで配付を行っていたが、今年度から深野地区でも花を届けることになり、深野地区で309件1545鉢、横野地区で180件900鉢を横谷の杉本園芸に発注しました。対象が15組自治会と件数が多くなったことから混乱を避けるため、横野地区は前日に、深野地区はこの日早朝に杉本園芸で花を受け取り、各自治会に持ち帰りました。

深野・中村組の院田晃弘自治会長らはマリーゴールド、ケイトー、ペチュニア、アゲラタムの4種の花計260鉢を軽トラックに積み込み、各班長宅を回って配付を依頼していました。夏から秋にかけて各家や事業所、商店などの庭先を彩ります。

昔ながらの子ども遊び

竹とんぼづくりに挑戦！

夏休みの親子ものづくり教室に13組35人参加

夏休みに入った7月28日、教育文化部会は親子で竹とんぼづくりを楽しむ「親子ものづくり教室」を飯南産業文化センターで開きました。13組35人が参加。昔ながらの子ども遊びになかなか接する機会のない現代っ子だけに参加者たちは興味津々で、親子で竹を削る作業に熱中しました。講師は竹細工づくりを趣味にする深野区長の出口健太さん。また、木工細工を得意とする横野、宮本一夫さんも子どもたちの指導に当たってくれました。



竹とんぼづくりを楽しむ子どもたちと指導する出口さん（左）（飯南産業文化センターで）

最初に出口さんがこれまで竹で作ってきたカブトムシ、カニなど28点を紹介。その精巧な作りに子どもたちは「すごい！」と驚きの声を上げていました。竹とんぼは出口さんがあらかじめ形だけを作ってきて参加者に配付。子どもたちはよく飛ぶよう、サンドペーパーで角や側面を削る繊細な作業を行い、軸を取り付けました。出来上がった竹とんぼをさっそく飛ばすと、5、6秒、ゆっくりと宙を舞い、子どもたちは大喜び。大切に家に持ち帰り、遊びました。



アメリカの最新作アニメ映画「Fly」を楽しむ子どもたち（飯南産業文化センターホールで）

親子でアニメ映画楽しむ！夏休み子ども映画観賞会

教育文化部会は8月10日、「夏休み子ども映画観賞会」を飯南産業文化センターホールで開きました。約50人の親子がアメリカアニメ映画の最新作「FLY（フライ）」を楽しみました。

飯南公民館との共催事業で、参加対象は横野、深野地区だけでなく、飯南町全域とした無料映画会。粥見、有間野からも親子連れが詰めかけました。

映画はミニオンズやザ・スーパーマリオブラザーズムービーを制作したアメリカのイルミネーションスタジオの最新作。アメリカ・ニューイングランドの小さな池に暮らすカモ一家が約3000キロ離れたジャマイカに移動する大冒険旅行の物語。上映したのは日本語吹き替え版で、主人公のマックの声を俳優の堺雅人が担当している。上映時間は83分。カモ一家のハラハラドキドキの大冒険に、みんなは息を飲みながらスクリーンに見入っていました。

篤志家寄付金で観光名所の案内看板設置



「ふるさとのために役立ててほしい」と地元出身の篤志家から贈られた寄付金を使って、深野の観光名所「深野だんだん田」の観光案内版＝写真2枚＝と、柿野小学校の校歌にも歌われている地元の名峰「白猪山」をPRするチラシを作りました。

深野だんだん田は120段の石積みの棚田。室町から江戸時代にかけて開拓され、最上部から眺める絶景は息を飲むほどで、多くの観光客が訪れています。

白猪山は標高817メートル。堀坂山、局ヶ岳とともに伊勢3山と呼ばれています。山頂に石尊大権現（せきそんだいごんげん）が祀られ、古くから信仰登山の山としてあがめられています。

参加者募集

★第2弾安全安心暮らし講習会

9月18日午前10時から飯南産業文化センター
講師は松阪警察署 柿野警察官駐在所 大野直彦様

★グラウンドゴルフ大会 10月19日午前9時から飯南グラウンド

★救命講習会 11月13日午前10時から飯南産業文化センター研修室 で開催予定。

★さら☆トレ楽ちん講座 11月6日午前10時から飯南産業文化センター研 修室 レスリング金メダリスト 土性沙羅さん指導

★お菓子づくり教室 12月5日午後6時から飯南産業文化センター調理室 講師は粥見・甲子軒の星野美沙希代表

★バルーンアート教室 12月15日午前9時から飯南産業文化センター研修 室 水本安雄講師

★寄せ植え教室 12月22日午前9時から飯南産業文化センターホール 杉本園芸・杉本充講師

★紙漉き体験教室（歴史文化学習会） 令和7年1月22日午後1時から飯 南和紙和牛センター 講師は深野和紙保存会員

★野菜づくり教室 令和7年2月21日午前10時から飯南産業文化センタ ー研修室で開催予定。

★健康ウォーキング 令和7年3月9日午前9時、飯南産業文化センター前集 合。行先は現在、検討中



※各行事の詳細は開催時期に合わせて、あらためてチラシを回覧
します

問い合わせ、参加申し込みは柿野住民自治協議会事務局
(090 5769 6948) までお願いします

お知らせ

柿野住民自治協議会事務局が産文センターへ移転



飯南産業文化センターに移転した柿野住民自治協議会の事務局

横野 867 番地の松阪市飯南体育センター事務室にあった柿野住民自治協議会事務局が 7 月から同横野 848 番地の飯南産業文化センターの事務室に移転しました。市役所飯南地域振興局柿野出張所の廃止に伴って空いたスペースを借用したもので、住民協主催行事への参加申請や問い合わせ、柿野支援隊の利用申請などはこれまでと同じ事務局電話番号の「090 5769 6948」で変わりません。

毎月 11 日は黄色のレシートを
柿野住民協 BOX に投函を！

マックスバリュ大石店の利用者をお願い



マックスバリュ大石店で、毎月 11 日のイオンデーに買物をすると、「幸せの黄色いレシート」が発行されます。この黄色いレシートをその日、店内に置かれた各地区住民自治協議会の箱のうち、「柿野住民自治協議会」と書かれた箱に入れていただきますと、レシート総金額の 1 % が柿野住民自治協議会の事務用品代として助成支給されます。11 日はマックスバリュ全店で黄色いレシートが発行され、助成支給の対象となりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いします。

編集後記

少子高齢化が続いています。日本の人口は 10 年前に比べて 312 万人減りました。横浜市が消滅したことになります。10 年前に比べ、横野、深野の合計人口も 373 人（減少率 23 %）減りました。中学生までの子どもの数も 56 人（減少率 34 %）減り、代わって増えたのは総人口に占める 65 歳以上の人の割合で、10 年前は横野で 39 %、深野で 35 % だったのが、今年は横野で 50 %、深野で 46 % となりました。65 歳以上の人口比が 50 % を超え、生活共同体の維持機能が限界に達している状態を「限界集落」と呼びますが、私たちの地区はまさにそれで、10 年後には空き家ばかりの風景が想像できます。衰退する地区でみな共に関心を持って暮らそうと、柿野住民自治協議会に組織されたのが「柿野支援隊」です。息の長い活動を続けて、安心して暮らせる環境を持続させようとするこの活動にご理解と支持をお願いします（こ）